

\\ ご協力ありがとうございました //

# 日本共産党市議団 2024年度「市民アンケート」結果

2024年度「市民アンケート」にたくさんの声をいただき、本当にありがとうございました。  
暮らし向きを問う質問では6割の方が生活が「きびしい」「かなりきびしい」と回答するなど、ひっ迫した声が過去最高の結果となりました。スペースに限りがありすべてを紹介できませんが、2025年度予算要望書へしっかりと反映しました。

## ●戸田市に力を入れてほしいこと

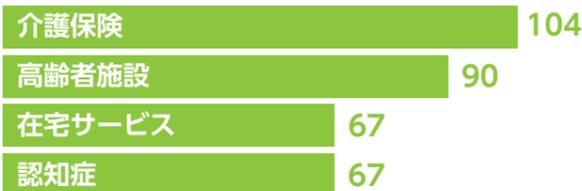
### 1 子育て支援



### 2 障がい者支援



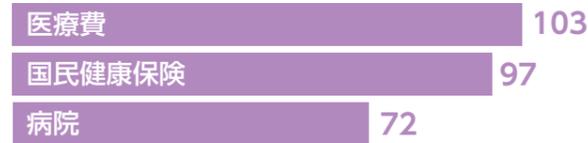
### 3 高齢者支援



### 全体を通して



### 4 医療・保健・福祉



### 5 まちづくり・交通対策



### 6 災害対策



### 7 相談業務



寄せられた声

- 給料・年金が上がらず、物価だけが上がる。
  - 学校給食費・義務教育費を無償に。
  - 発達障害の子ども居場所を支援して。
  - 国保税、介護保険料たかすぎ！引き下げて！
  - 国際興業バスの路線が廃止され不便。トコバスの増便、逆回り運行を。
  - 治水対策は待ったなし、早急に。
  - 自転車道の整備と逆走へのマナーを徹底してほしい。
  - 歩道の整備と雑草が茂って通行の妨げに、草刈りを。
  - 保育料が高い、無償化を。
- その他…

みなさんの声 実現に がんばります

# 日本共産党戸田市議団 9月定例議会報告

民主戸田 2024年11月号外 発行 日本共産党戸田市委員会 TEL048-443-8332 (日本共産党戸田地区委員会) Eメール t-kyosan@outlook.jp 市議団ホームページ https://www.jcp-toda.net



## 2023年度一般会計決算に反対

# 38億円も使い残し

税金は市民に還元を！

### 市民税収入・前年度比較

## 約1億3000万円増

- 財政力指数 1・255 で県内1位
- 実質収支比率 11・3% (適正範囲は3~5%とされており、多額に使い残しています)
- 翌年度繰越額 38億円 (内30億円を財政調整基金へ積み立て)

### 令和5年度末の各基金残高



## 4基金の総額 152億円

防災減災基金10億円

自治体の財政運営は単年度主義が基本です。日本共産党戸田市議団は、市民生活は物価高で大変な時であり、年度内の税金は市民の暮らしにしっかりと還元すべきだったとして2023年度決算に反対しました。

## 2025年度

# 予算要望書を市長に提出

10月30日、日本共産党戸田市議団は「市民アンケート」に基づいた300項目超の「2025年度予算要望書」を菅原市長に提出しました。重点項目を抜粋し、ご紹介します。(全文はホームページに掲載)



左から本田議員、市長、むとう議員、花井議員

- 1 水道料金値上げ計画の中止を
- 2 円安、物価高騰対策の実施し、市民・事業者のくらしや営業を守る
- 3 敬老祝品(商品券)の1万円への増額
- 4 小中学校の給食費無償化
- 5 マイナ保険証は強制ではないこと、現在、発行されている紙の健康保険証は期限まで利用できることの周知徹底。申請なしで保険証を発行するよう国に申し入れること
- 6 高すぎる国民健康保険税の引き下げ
- 7 介護保険料の引き下げと、介護保険サービスが低下しないよう事業計画を立てること
- 8 地域交通対策の充実(トコバスの高齢者・障がい者無料化や両回り運行、民間バスの路線廃止をふせぐための支援等)
- 9 埼京線のホームドア設置、遅延や痴漢対策の強化をJRに強く申し入れること。

- 10 地球温暖化対策の強化
- 11 災害対策の強化(冠水対策、避難所、備蓄品、感染症対策等)
- 12 開発トラブルから市民の住環境を守るため「まちづくり基本ガイドライン」の制定
- 13 コロナ感染症の経験をふまえ、戸田市への保健所の再整備を県に要望すること
- 14 障害者福祉の充実(障がい者の居場所や就労場所の整備、放課後デイサービスの支援等)
- 15 子ども食堂や子どもの学習支援事業を整備し、支援すること
- 16 保育行政(1、2歳児枠の拡大、保育料負担軽減、民間の保育士確保のための手当等)
- 17 学童保育の待機児対策に努めること

# 来年4月からの 水道料金の大幅値上げに反対



物価高に  
さらに  
追い打ち

戸田市の水道料金は、これまで県内 1 安い料金となっており、大変喜ばれていました。

今年6月に戸田市上下水道事業経営審議会から、県の水道料金値上げなどにもない現行の料金水準では赤字額の急激な増加が予測されるとした答申が出されたことから、9月議会に値上げが提案されました。これに対し、日本共産党をのぞく全議員の賛成で、来年4月から平均改定率 33.87%の値上げが決まりました。

市は水道事業は独立採算が原則と言いますが、公益企業法では、「能率的な経営を行なつてもな

おその経営に伴う収入のみをもつて充てることが客観的に困難であると認められるものは、自治体の一般会計又は他の特別会計において、出資、長期の貸付け、負担金の支出その他の方法により負担する」とされています。

市民生活が厳しさを増すなか、大幅な値上げではなく、一般会計からのくり入れをすべきです。また、県の水道料金値上げを止めるよう意見を上げること、さらに国に対して命の水を運ぶ事業は国の責任でおこなうよう声を上げることを求めて、水道料金値上げに反対しました。

## 党戸田市議団提出の5つの意見書

	共産党	みらいの会	戸田の会	公明党	令和会	立憲民主とだ	とだ彩光会
①埼玉県水道料金の引き上げ撤回を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×
②コロナ治療薬とワクチンの負担軽減、医療体制の強化を求める意見	○	○	○	○	○	○	○
③最低賃金を全国一律 1500 円以上に引き上げを求める意見書	○	×	△	×	×	△	×
④独立行政法人国立女性教育会館の研修・宿泊機能等廃止の撤回を求める意見書	○	×	×	×	△	×	○
⑤米兵による性犯罪根絶のため米軍基地撤去を求める意見書	○	×	△	×	×	△	×

○…賛成 △…調整の余地あり ×…反対

## 議員報酬の値上げに反対！

議会改革特別委員会において公明党議員から、議員報酬が長年上がっていないこと、物価が上がっていることなどを理由に、議員報酬を審議する委員会へはかかるよう求める発言がありました。党市議団は、物価が上がり市民生活もきびしい時であり、議員報酬を上げるべきではないと反対しましたが、報酬審議会は引き上げを答申。

これに基づき月額 3万9000 円もの引き上げが提案され、反対9人、賛成16人で値上げが決まりました。値上げの増額予算は1765万円です。

**値上げに賛成した議員** 戸田の会 酒井郁郎、浅生和英、佐藤太信、宮内そうこ、矢澤青河、野澤茂雅、公明党 三浦芳一、三輪なお子、竹内正明、みうら伸雄、令和会 伊東秀浩、斉藤直子、峯岸義雄、みらいの会 熊木照明、榎本守明、立憲民主とだ 小金澤優

**値上げに反対した議員** 日本共産党 本田哲、むとう葉子、花井伸子、みらいの会 遠藤英樹、細田昌孝、そごう拓也、古屋としみつ、令和会 山崎雅俊、とだ彩光会 林冬彦

※石川清明議員は議長のため採決に加わりません。

## 民意を削る議員定数削減は反対！ 議会最終日に突然の提案

9月議会最終日、有志議員 10 人が非公開で決めた、戸田市議会議員定数 26 人を 25 人にする条例改正案が提出されました。提出者の酒井郁郎議員(戸田の会)は「定数を 1 削減することで 1000 万円程度の歳出が削減され行政改革になる」と主張。しかし、議員報酬を一気に 3万9000 円も値上げし 1765 万円も歳出を増やして、行政改革とはおかしな論理です。人口が増加する中で議員を減らすことは、市民の声が伝わりにくくなり、民意を削ることにつながります。

## 9月議会 一般質問



むとう 葉子

### ●学校給食の無償化を

むとう ①物価高騰で、献立や食材の質の低下はないか②第3子以降の給食費の無償化は。申請期限後の転入生への対応、他市通学生も対象に③学校給食は無償に。

教育部長 ①高騰分は市が負担し、質の低下はない②転入生にも随時対応。他市通学生への対象拡大の予定はない③無償化には年間6億7千万円かかる。地域間格差は望ましくなく国が実施すべき。

むとう 国に対して強く要望すべき。

●子どもの居場所の課題解決を  
むとう 子どもの居場所は、格差解消にもつながる。ボランティア団体の運営上の課題解決への援助を。

子ども健やか部長 課題は把握している。市も子どもの居場所ネットワークの一員として取り組む

### ●荒川土手の環境整備を

むとう 荒川土手の草刈りを。  
都市整備部長 国土交通省に要望する。

### ●災害対策の強化を

花井 能登半島地震では地域防災計画の被害想定が「甘すぎ」と指摘され、避難所備蓄品、とくにトイレやエネルギーの不備が明らかになった。本市は適切か。

危機管理監 戸田市の被害想定は適切だと認識している。トイレ、エネルギーは今年度新たに購入する。

花井 想定を超えた災害への体制強化が求められる。

危機管理監 被害想定を適宜見直し、先進

事例も参考に研究する。

### ●コミュニティバスの両回り運行を

花井 ①コミバスの両回り運行②朝夕の増便③美女木・笹目地域の交通不便の解消④高齢者の運賃無料化で外出支援を。

都市整備部長 ①一方通行や運転手不足などの課題がある②運転手不足、運行経費が膨らむ③一定程度対応している④それぞれの施策を推進することが重要。

花井 市民の声に応えた地域交通計画を求める。



花井 伸子



本田 哲

### ●市民生活の負担軽減への対応を

本田 ①国民健康保険税への法定外繰入を堅持し国保税は引き上げるな②奨学金制度を半額返済に戻し、家計負担の軽減を③敬老祝い品 1 万円贈呈の再度実施を。

健康福祉部長 ①法定外繰入を予算計上する見込みである。③高齢者施策全体のバランスを踏まえ慎重検討する。

教育部長 ②国や県の支援金や奨学金の内容が充実してきていることから現行制度で行う。

### ●「止まれ」の標識の改善を

本田 戸田公園駅西口の戸田ポートレース場乗り場周辺にある「止まれ」の標識が送迎バスが停車すると見えづらい。ドライバーから見えるよう改善すべき。

都市整備部長 蕨警察署に改善を伝える。



バスが停車すると見えなくなる標識

## 「思想・信条の違いを超えて、核兵器廃絶を」

### 意見書提出の採択求め党市議団は賛成討論

「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求め、条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすよう求める意見書を提出してほしい旨の請願(とだ九条の会提出)は、日本共産党戸田市議団、立憲民主とだが採択に賛成しましたが、他党派のすべての議員が反対し、不採択となりました。

「核兵器禁止条約」は 2024 年 1 月 15 日現在、署名 93 カ国、批准 70 カ国と、世界で核兵器禁止・

廃絶に向けた世論が大きくなっています。唯一の被爆国にも関わらず日本政府は「核抑止論」にしがつつき、条約に背を向けています。

現在、全国 687 議会が同様の意見書を提出しています。賛成討論に立った本田哲議員は、「核兵器廃絶を訴える平和都市宣言を持つ戸田市議会だからこそ、思想、信条の違いを超えて一致できるはずだ」と訴えました。